「青空文庫」の作家、高野敦志の世界

舟橋聖一顕彰青年文学賞を受賞した高野敦志が、書きためた作品を無料で公開していきます。
なお、右サイドバーの下部に、高野敦志の電子書籍の表紙がランダム表示されています。
表紙をクリックすると、各電子書籍のダウンロードページへ移動します。

<< 弓削三男先生のこと（1） | TOP | 箱根にあった駒ヶ岳（8） >>

2020年04月08日

弓削三男先生のこと（2）

　僕は不肖の学生で、フランス文学の研究は修士でやめてしまったが、その後も年末には、先生のマンションにうかがっていた。研究をやめた理由の一つは、フランス語の能力に限界を感じたからだが、もう一つはフランス語の小論文を教えていたフランス人講師の姿を見て、逆の立場で外国人に日本語を教えたいと思うようになったからだ。それが日本語教師としての道を選ばせることになった。
　非常勤講師で働いていた僕の将来を心配した先生は、日仏会館の職員の仕事を紹介してくださった。有り難いお話だったが、日本語教師として外国人学生を教えはじめていたので、お断りしてしまった。数年後、先生はストラスブールの日本人対象の高校で、フランス語の教師をしてみないかとおっしゃった。
「向こうに骨を埋めるつもりなら」ということだった。父に相談すると、行けばいいと言われたが、某文学賞を受賞した直後であること、教えていた外国人学生を見捨てられなかったこと、父母を日本に残していくことへのためらいで、結局、この時もお断りしてしまった。
　その後も、年末には先生のお宅にうかがっていたのだが、ご厚意を二度も無にしてしまったこと、自分だけはフランス文学研究から離れたことで気が引けて、次第に足が遠のいていった。
　2002年（平成14）1月、突然の訃報を耳にした。先生の葬儀は都内の真言宗の寺院で行われた。お顔を拝したのはそれが最後だった。弓削先生が亡くなられた日、奇しくも、同じ仏文科で演劇を教えてこられた岩瀬孝先生も亡くなられた。
「二人つるんで逝っちゃったのよ」と、弓削先生が愛娘のように可愛がっていた教え子がつぶやいた。その後、先生の形見分けをするからという連絡をいただいたが、フランス文学の研究をやめてしまった自分には、資格がないとして遠慮した。

「青空文庫」の作家、高野敦志の世界
https://podcasts.apple.com/jp/podcast/qing-kong-wen-ku-no-zuo-jia/id504177440?l=en

Twitter
https://twitter.com/lebleudeciel38

にほんブログ村

人気ブログランキングへ

ランキングはこちらをクリック！

<< 2026年01月 >>

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

検索

検索

ファン

メッセージを送る
このブログの読者になる
更新情報をチェックする
ブックマークする
友達に教える

ラベルリスト

MIDI,XG,GS,soundfont,VST,Android チベット,蔵王墓,ヤルツァンポ河,チベット仏教,ヤムドゥク湖,ラサ,ポタラ宮,西安 ボルヘス,バベルの図書館,世界文学全集,国書刊行会,評論 ワード,word,電子書籍,ePub,Sigil,css,スタイルシート 芥川龍之介,河童,蜘蛛の糸,藪の中

最近の記事

(01/25)朝ドラの「ばけばけ」裏話

ラベル：弓削三男,フランス文学,早稲田大学,岩瀬孝

シェアする 0 ポスト ブックマーク

【関連する記事】
朝ドラの「ばけばけ」裏話
翻訳と生成ＡＩ
島崎藤村の『破戒』について
ヴァーチャル怪談「耳なし芳一」
加賀乙彦の「森鴎外　医学と文学」

posted by 高野敦志 at 04:20| Comment(3) | 文学 |

この記事へのコメント

僕自身、弓削先生とは、学校を出たあとからのことも印象深いです。
翻訳のことでもいろいろ相談しました。

窪田先生や平岡先生の話は、前に読ませていただきました。
この二人の先生の授業は受けましたが、市川慎一先生は授業を受けたことがなくて、顔も分からないです。しかし、市川先生の『フランス語の手紙』（白水社）は、頼りになる本でした。

Posted by 吉澤 at 2020年04月08日 14:57

僕も年を取ったせいか、昔のことがやたらに懐かしいです。僕と一緒に入学して、結局退学してしまったＫ君は、今頃どうしているんだろう。追分セミナーを出て蕎麦屋に行くはずが、道を間違えて群馬県に出てしまい、そのまま別れ別れになったこともよく覚えています。コロナウイルスの騒ぎが終わったら、一度会いますか。ちなみに、お酒は飲んだっけ？

Posted by 高野敦志 at 2020年04月09日 01:02

コロナが収まるまで時間がかかりそうですが、収まった時に会いましょう。

（天候不順のせいか、こちら、最近しばしば、Wi-Fiが不安定です）

Posted by 吉澤 at 2020年04月11日 21:52

コメントを書く
お名前:
メールアドレス:
ホームページアドレス:
コメント:
確認する 書き込む

(01/24)「トート・タロット」の「16 塔［または戦争］」
(01/23)パキスタン人について
(01/22)真栄田岬の幻影（８）
(01/21)podcastを更新する際の注意点

最近のコメント

連体止め・体言止め・言いさし（２） by おじさん構文 (09/19)
森鴎外の『舞姫』 by いけやん (04/26)
森鴎外の『舞姫』 by いけやん (04/26)
「ウェイン・ショーター 無重力の世界」（３） by aki (11/19)
西早稲田の川香酒坊が間もなく閉店 by 川香酒房の元常連 (08/19)

カテゴリ

日記(8)
文学(947)
日本語(63)
語学(15)
コンピュータ(331)
旅行(1272)
ジャズ(256)
社会(766)
宗教(585)
ショートショート(170)
連載(73)
ePub版ライブラリ(19)
PDF版ライブラリ(21)
podcast(8)

過去ログ

2026年01月(27)
2025年12月(34)
2025年11月(32)
2025年10月(31)
2025年09月(14)
2025年08月(14)
2025年07月(15)
2025年06月(13)
2025年05月(9)
2025年04月(14)
2025年03月(15)
2025年02月(14)
2025年01月(12)
2024年12月(11)
2024年11月(11)
2024年10月(16)
2024年09月(13)
2024年08月(16)
2024年07月(18)
2024年06月(15)

商品紹介

RDF Site Summary
RSS 2.0

